

# 世界農業遺産の継承に向けて

大崎耕土を未来に伝え・残したい

守る価値があることを知る

= 有用・大切

活用から考える保全

『守るために活かす』アクションが重要

## 資源・環境

## 共有

## 体験・体感

## 共感

- ラムサール条約湿地
- 世界農業遺産，豊饒の大地「大崎耕土」の農産物・食文化，居久根，農村景観，生物多様性・・・

- 資源の見える化（映像・マップ・看板など）
- 人材育成（ガイド・語り部），公的教育での普及（GIAHS学習）
- 広報活動・モニターツアーの催行など

- 農泊を軸としたツーリズム商品の開発**（SDGsツアーなどのスタディーツアー含む）
- 農産物等のブランド化
- 資源・環境の保全・活用モデル地区での実証

- 農泊を軸としたツーリズム商品の販売**（SDGsツアーなどのスタディーツアー含む）
- ブランド農産物の販売
- 資源・環境の保全・活用への参画

# 農泊の取り組みの現状

## 受け入れ登録戸数

教育旅行 151戸

一般旅行 13戸

大崎市では  
外国人の受け入れも  
積極的に行っています



川渡温泉で森林に触れよう①

## 木こり体験（林泊）

チェーンソーで丸太切り！森  
で働く木こりが優しく丁寧に  
レクチャー！

# 見える化コンテンツと活用

ブランド認証品



フィールド  
ミュージアム  
マップ



たべるフィールド  
ドミュージアム



散策マップ



映像&案内板  
(多言語対応)



Web  
(多言語対応)



副読本概要版



居久根  
パンフレット



見える化の取組は令和2年度でほぼ完了

活用

外向け

大崎耕土ツーリズム

モニターツアー

- ・たべるフィールドミュージアムのブラッシュアップ
  - ・居久根などの地域資源を活用
  - ・オンラインツアー
- ※地方創生推進交付金事業

全国農泊ネットワーク宮城大崎大会

- ・世界農業遺産分科会の設置
- ・オブショナルツアー  
( GIAHSツーリズムの試行)

教育旅行との連携

- ・副読本概要版等を活用
- ・関係団体制作物の活用  
(例：OSAKI KOUDO SDGsクエスト・発行(一社)みやぎ大崎観光公社)

ソフト事業への移行

地域内外への  
普及・啓発  
保全意識の醸成

交流・関係  
人口の拡大へ

活用

内向け

教育

- ・副読本の活用普及
- ・公民館職員対象研修
- ・公民館事業

語り部育成

- ・語り部養成講座



居久根保全活動

- ・モデル地域での ボランティア
- ・支援企業とのマッチング  
(CSV)

# 大崎耕土 世界農業遺産

## 世界農業遺産「大崎耕土」 ウェブサイト



## 大崎耕土とは

大崎耕土（おおさきこうど）とは宮城県北部を流れる江合川・鳴瀬川流域に広がる大崎平野の農地を指す呼称です。語源は18世紀末に仙台藩の特産物について記された「封内土産考」の「大崎浩蕩」もしくは「大崎広稲」といわれています。



## 大崎耕土映像集 <https://osakikoudo.jp/movie/>

大崎耕土ウェブサイトでは大崎耕土の全体像を解説した映像や、シナイモツゴが再発見された大崎市鹿島台の「桂沢ため池」を紹介した映像もございます。この機会にぜひ、ご覧ください。

※画像をクリックすると、動画サイトに移動します。

## 映像集

解説映像



桂沢ため池



品井沼遊水地



# 世界農業遺産ブランド認証制度

世界農業遺産「大崎耕土」の価値を伝え・営みの持続可能性に貢献する認証制度として

- 高い品質と安全・安心
- 伝統的な知恵の活用（継承）
- 都市と農村のエシカルな価値観の共有



## 米

R2実績

- ◆申請面積：約680ヘクタール
- ◆申請者数：370人（うち法人11）

## 岩出山凍り豆腐



R2実績

- ◆申請数量：約27トン

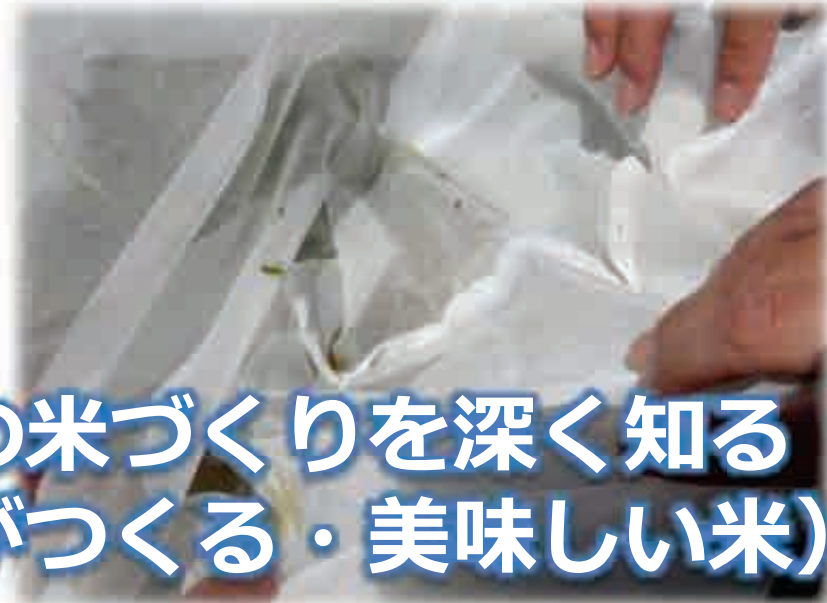
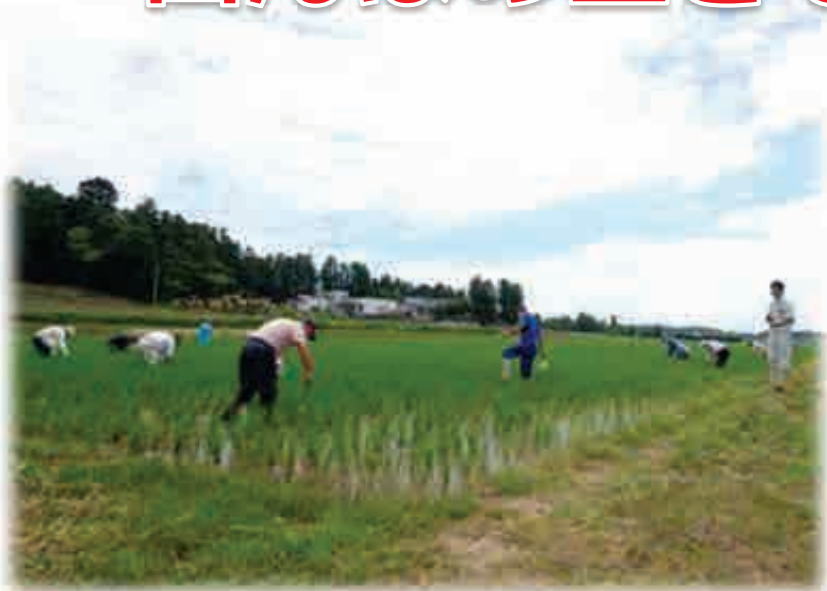
## 日本酒



## 野菜



# 田んぼの生きものモニタリング



生きものを通して自分の米づくりを深く知る  
(足元に目を向ける農家がつくる・美味しい米)